

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 28. 5. 20 第 190 回国会第 19 号

5 月 20 日（金）、第 19 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

・塩崎厚生労働大臣、竹内厚生労働副大臣、とかしき厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

伊 佐 進 一 君（公明）

- ・がん対策における放射線治療の実態を把握した上で、患者にとって適切な治療が行えるよう取組を進めるべきではないか。
- ・スプリンクラーの設置義務の規制強化に当たり、共同住宅等を利用した障害者グループホームの整備が進むよう、消防庁と連携しながら補助金の充実を行うべきではないか。
- ・処方せんに変更不可の印がない場合、先発医薬品から後発医薬品への変更等について法律上は疑義照会の義務はないということを確認したい。

初 鹿 明 博 君（民進）

- ・児童扶養手当を受給中に妊娠し事実婚の関係があるとされ、手当の支給を止められた事例があると聞かすが、家庭の状況を把握して丁寧に対応すべきではないか。
- ・無料低額宿泊所は食事の提供や金銭管理等を行うことが想定されていないが、金銭管理の計画書や理由書を提出させることはできないのか。
- ・貧困ビジネスを規制する法律を閣法で制定するべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

西 村 智 奈 美 君（民進）

- ・平成28年5月16日の予算委員会における保育士の処遇を全産業の女性労働者と比較する厚生労働大臣の答弁は、男女間の賃金格差を認めることを示しているのではないか。
- ・平成22年のガイドラインにおける男女間賃金格差の原因についての考え方に、厚生労働大臣は賛成するか。
- ・「ニッポン一億総活躍プラン（案）」の「正規労働者と非正規雇用労働者の賃金差について、欧州諸国に遜色のない水準を目指す」との記述は、2割差以内を目指すという理解でよいのか。

井 坂 信 彦 君（民進）

- ・歯科技工士の低所得の現状を踏まえ、原価の積算額や長時間労働の実態を考慮して歯科技工料を決定すべきではないか。
- ・地域の雇用を守る観点から、ホテルや旅館の耐震改修工事に伴う雇用調整についても、雇用調整助成金を利用できるようにすべきではないか。
- ・介護職員に対する入所者からの暴力・暴言やセクハラに対して、介護施設や職員が毅然と対応できる機運や仕組みづくりが必要ではないか。

大 西 健 介 君（民進）

- ・保育士の就業者数に占める男性の割合及びそれに対する厚生労働省の評価並びに男性保育士の割合を引き上げる数値目標の有無について伺いたい。
- ・同一労働同一賃金の実現により、年齢による賃金差別が解消されることが我が国の雇用環境にどのような影響を及ぼすのか、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・安倍政権は最低賃金の全国平均を1,000円に引き上げることを目標としているが、最低賃金の地域間格差を是正し、全国一律1,000円を目指すべきではないか。

高 橋 千 鶴 子 君（共産）

- ・「ニッポン一億総活躍プラン（案）」の36協定における時間外労働規制の在り方を再検討する旨の記載は、時間外労働の限度基準を定めた大臣告示の法制化を指すのか伺いたい。
- ・特別条項付き36協定を締結すれば、過労死ラインといわれる時間外労働時間数を超えて働かせても法律違反とはならない状況を変えるべきではないか。
- ・終業から始業までの間に一定の休息時間を設けるインターバル規制について、「厚生労働省は義務化を考えておらず、助成金で導入を促す」旨の報道があるが、どのように考えているのか。

浦野靖人君（おおさか）

- ・肝硬変や肝がんの患者に対する医療費助成等の支援策の検討状況について伺いたい。
- ・認定こども園に学校薬剤師の配置を義務付けているが、実態に合っていないのではないか。
- ・「ニッポン一億総活躍プラン（案）」における保育士の処遇改善策の検討状況について伺いたい。

2 確定拠出年金法等の一部を改正する法律案（第189回国会閣法第70号）（参議院送付）

- ・提案理由の説明を省略することに協議決定しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民進、公明、おおさか 反対－共産）

3 臨床研究法案（内閣提出第56号）

- ・塩崎厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。